

新規発注でのバッチのレコードのインポート

こんにちはこのセッションでは、新規発注を処理するときに、ベンダー提供の入力ファイルからAlmaに書誌レコードをインポートする方法を学習します

そして、インポート結果を表示し、エラーのトラブルシューティングを実行する方法も確認します

ベンダーのインターフェースからAlmaのリポジトリにレコードをインポートできます

ベンダーは、MARC XMLなどのフォーマットで入力ファイルを提供します

次に、Almaでインポートを手動/スケジュールで実行し

ファイルを取得し、レコードをリポジトリにインポートします

入力ファイルにEmbedded Order Data (EOD)が含まれている場合

Almaは必要な発注明細を生成し

受入と目録化のワークフローを自動化します

これを機能させるには、インポートプロファイルを適切に構成する必要があります

インポートプロファイルの設定については、マニュアルで学ぶことができます

このセッションでは、既存のインポートプロファイルを使用します

インポートを手動で実行するには、[受入]+[インポート]+[インポート]に移動します

ここでは、機関向けに構成されたさまざまなインポートプロファイルを確認できます

各インポートプロファイルは、そのインポートのニーズに合わせて特別に構成され

レコードフォーマット、ベンダー、使用した予算などによって異なります

プロファイルタイプでフィルタリングできます

新規発注は、**Embedded Order Data**が埋め込まれた書誌レコードを読み込み

新しい書誌レコード、目録、および発注明細を作成するために使用されます

目録のアップデートは、インポートされたレコードを強化し

オプションとして発注明細情報に基づきいて目録を追加します

[新規発注]でフィルタリングしてみましょう

目的のインポートプロファイルを見つけて、[オプション]+[実行]をクリックします

[ファイルの選択]をクリックします

EOD入力ファイルを参照し

[追加]をクリックします

必要に応じて、複数の入力ファイルを含めることができます

[送信]をクリックします

[インポートの監視と表示]ページでは

送信されたばかりのジョブを確認できます。

インポートが実行中の場合は、[更新]をクリックできます

ジョブが正常に完了しました

ジョブの[オプション]の下で、インポートしたレコードを確認できます

なお、各レコードには発注が設定されています

[インポートの監視]ページに戻りましょう

[受入]+[インポート]+[インポートの監視と表示]でアクセスできます

または[戻る]をクリックします

また、[オプション]で、ジョブによって作成された発注明細を表示できます

発注明細のステータスが[レビュー中]であることに注意してください

発注書はまだ作成されていません

発注書を確認して発注明細をレビューできます

[受入]+[発注明細]+[レビュー]です

[ジョブの監視]に戻ると、ジョブのレポートを表示できます

開始時間と終了時間、インポートの結果などの詳細情報を確認できます

レポートのさまざまなセクションを展開できます

インポートされた書誌レコードなどです

各行で

レコードのプレビューやXMLフォーマットでのダウンロードなど、アクションを実行できます

[ジョブの監視]に戻り、

インポートされたファイルの詳細を表示できます

[ジョブイベント]ページには、インポート中に発生した可能性のあるエラーの詳細が表示されます

これはトラブルシューティングに役立ちます

インポートジョブは、様々な理由で失敗したり、エラーのまま完了したりする可能性があります

エラー処理が必要なジョブを表示するには、[ステータス]フィルターでジョブをフィルター処理します
マニュアル操作が必要です

操作したいジョブのステータスをクリックします

これにより、[インポートの問題を解決する]ページに移動します

ここには、[受入]+[インポート]+[インポートの問題を解決する]から移動することもできます

ここでは、マッチング、検証、およびエラーに関する問題を処理できます

[マッチング]タブでは、インポート時に自動的に解決されなかった

Almaの1つ以上の既存レコードと一致するレコードを持つファイルが一覧表示されます

ファイルを選択することにより、ファイルレベルで操作できます

一致したレコードを拒否したり、ファイル全体を拒否したり

インポートを承認してレコードを統合できます

または、一致したレコードを個別に処理することもできます

目的のファイルについて、[アクション]+[編集]をクリックします

レコードを処理するには、[マッチングを表示する]をクリックします

ここでは、ファイルのレコードと一致したレコードを表示できます

複数一致する場合は、一致するレコードを選択できます

いくつかのオプションを使用して一致を解決できます

[インポートの問題を解決する]ページに戻り、[検証]タブを見てみましょう

インポートされなかったレコードを含むファイルが見つかりました

レコードの検証時に見つかったエラーが原因です

ここでも、いくつかのファイルについて

未検証のレコードを拒否したり、ファイル全体を拒否したりすることができます

その後、拒否されたファイルを編集して再インポートできます

また、[オプション]+ [編集]で

ファイルの未検証のレコードのすべてまたは一部をインポートすることもできます

最後に、[エラー]タブには、さまざまなエラーが原因で失敗したファイルが一覧表示されます

失敗したファイルをダウンロードし、Almaの外で修正して、再インポートすることができます

ありがとうございました